

2026年 第40週9月28日～10月4日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141

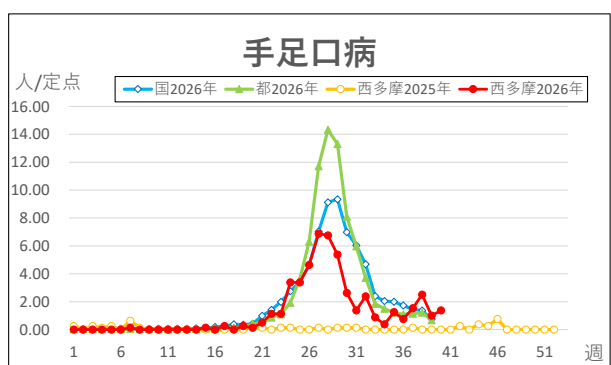
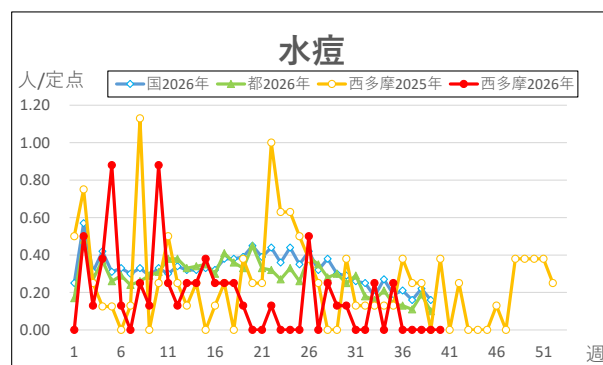
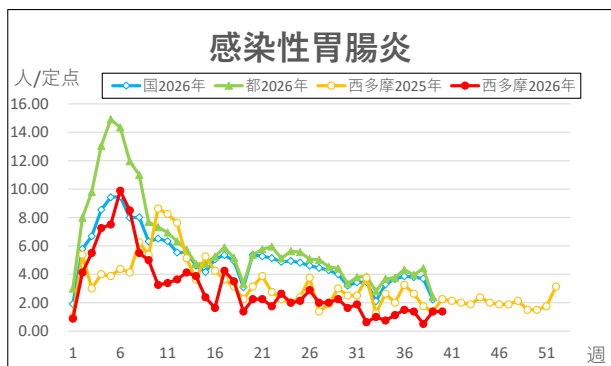
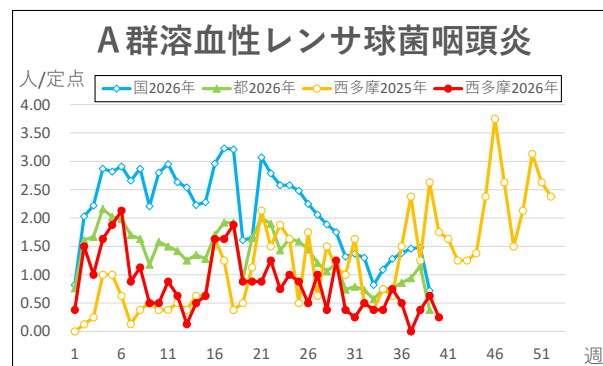
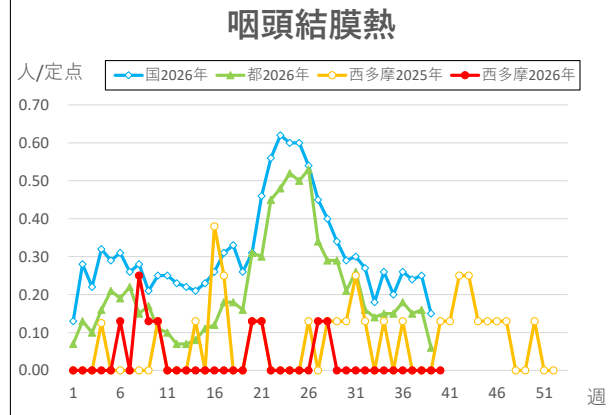
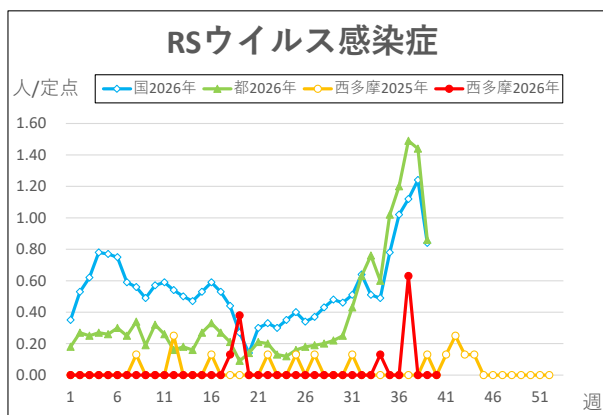
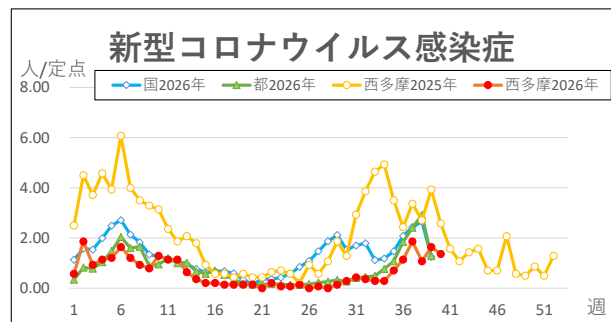
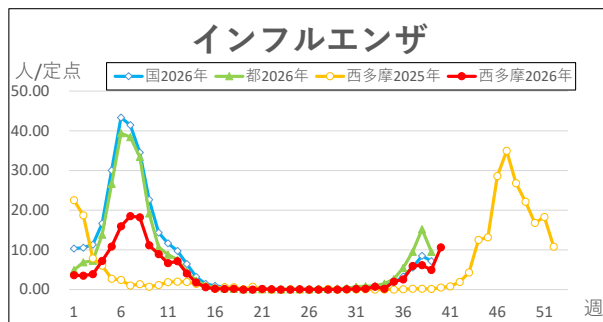


管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

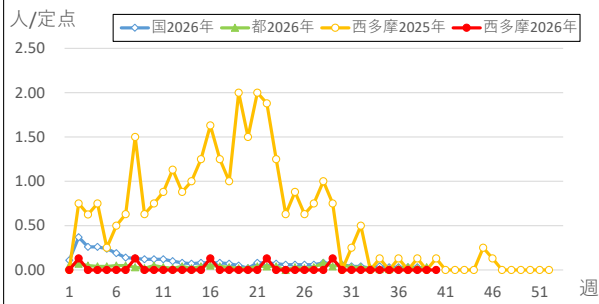
- 全数届出の疾患は、レジオネラ症1件(50代男性)、百日咳1件(40代男性)、梅毒1件(10代女性)、の報告がありました。
- 定点報告では、インフルエンザ10.64(4.93)、手足口病1.38(1.00)、ヘルパンギーナ1.00(0.38)、急性呼吸器感染症(ARI)31.86(16.14)、マイコプラズマ肺炎1.00(0.00)が増加しています。

管内の感染症集団発生状況 ()は内訳

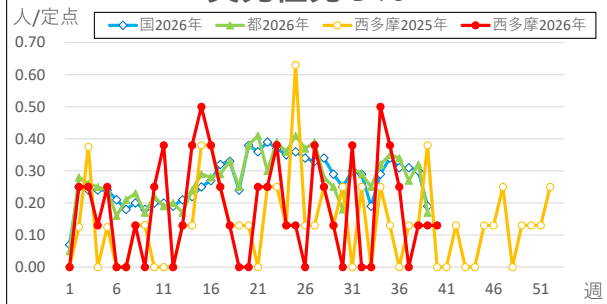
- インフルエンザ7件(保育施設・高齢者施設)、手足口病1件(保育施設)の報告がありました。
- インフルエンザが流行しています。手洗いやうがい等の感染予防に努めていきましょう。



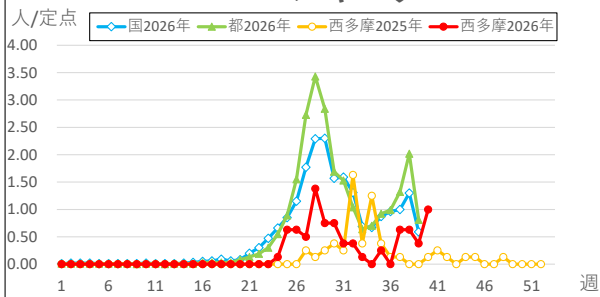
伝染性紅斑



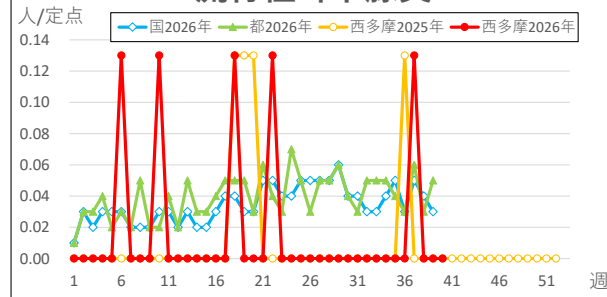
突発性発しん



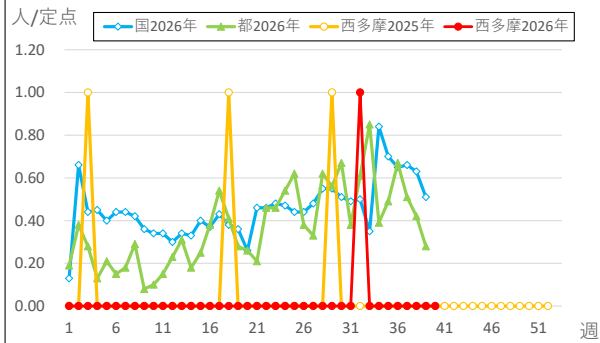
ヘルパンギーナ



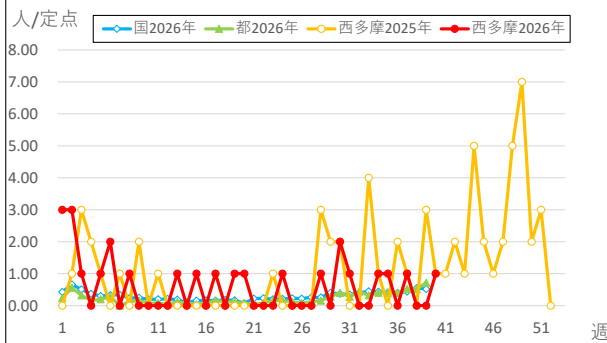
流行性耳下腺炎



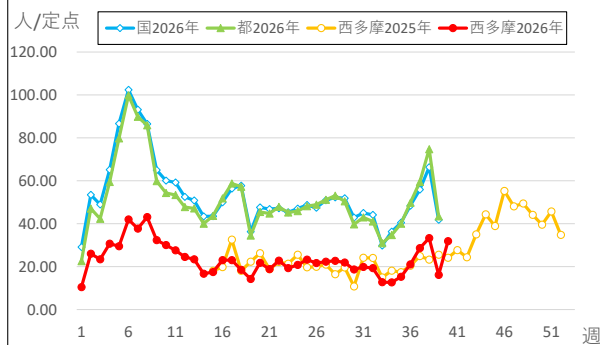
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



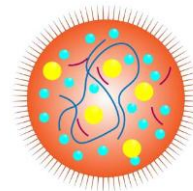
急性呼吸器感染症（ARI）



今週のトピックス

～マイコプラズマ肺炎～

肺炎はご高齢の方だけの病気だと感じがちではございますが、若年の方々にかかりやすい種類の肺炎もあります。その1例がマイコプラズマ肺炎です。



どのような病気ですか？

マイコプラズマ肺炎は、細胞に寄生する極めて小さな細菌であるマイコプラズマ・ニューモニエによる感染症です。幼児、学童期、青年期を中心に全年齢で1年を通して報告があります。潜伏期間は2～3週間と比較的長いです。発熱、全身倦怠感、頭痛などの初発症状が現れた3～5日後に乾性の咳がみられます。咳は経過に従って徐々に増強し、解熱後も3～4週間程度続きます。重症化することや、無菌性髄膜炎、脳炎などの中枢神経系症状、中耳炎などの合併症がみられることもあります。

どのように感染しますか？

病原体は、マイコプラズマ・ニューモニエです。患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって感染（飛まつ感染）、あるいは病原体が付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）があります。

どのように治療・予防できますか？

治療には抗生剤を使用します。手洗い、咳エチケットを心がけましょう。流水や石けんでこまめに手を洗い、自分専用のタオルで手を拭きましょう。咳やくしゃみをする時には口と鼻をハンカチでおおう、場面に応じてマスクを着用する等の咳エチケットを心がけましょう。

右記の『都民向けリーフレット（マイコプラズマ肺炎ってどんな病気??）』も適宜ご参照いただけますと幸いです。



東京都感染症情報センター マイコプラズマ肺炎 Mycoplasma pneumonia

<https://idsc.tmph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/mycoplasma/>

直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	1週目からの 累計
インフルエンザ	10 (0.71)	3 (0.21)	28 (2.00)	36 (2.57)	83 (5.93)	86 (6.14)	69 (4.93)	149 (10.64)	2,190
新型コロナウイルス感染症	4 (0.29)	4 (0.29)	10 (0.71)	16 (1.14)	26 (1.86)	15 (1.07)	23 (1.64)	19 (1.36)	364
RSウイルス感染症	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	5 (0.63)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	10
咽頭結膜熱	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 (0.38)	3 (0.38)	6 (0.75)	4 (0.50)	0 (0.00)	3 (0.38)	5 (0.63)	2 (0.25)	267
感染性胃腸炎	8 (1.00)	6 (0.75)	9 (1.13)	12 (1.50)	11 (1.38)	4 (0.50)	11 (1.38)	11 (1.38)	966
水痘（みずぼうそう）	2 (0.25)	0 (0.00)	2 (0.25)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	56
手足口病	7 (0.88)	3 (0.38)	10 (1.25)	6 (0.75)	13 (1.63)	20 (2.50)	8 (1.00)	11 (1.38)	401
伝染性紅斑	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	5
突発性発しん	0 (0.00)	4 (0.50)	3 (0.38)	2 (0.25)	0 (0.00)	1 (0.13)	1 (0.13)	1 (0.13)	57
ヘルパンギーナ	1 (0.13)	0 (0.00)	2 (0.35)	0 (0.00)	5 (0.63)	5 (0.63)	3 (0.38)	8 (1.00)	68
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	5
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1
マイコプラズマ肺炎	0 (0.00)	1 (1.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	25
急性呼吸器感染症（ARI）	178 (12.71)	165 (12.69)	214 (15.29)	293 (20.93)	401 (28.64)	466 (33.29)	226 (16.14)	446 (31.86)	13,047

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JHIS） <https://id-info.jhis.go.jp/surveillance/idwr/index.html>